

令和4年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

北九州市立 光貞 小学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、令和4年6～7月に、5年生を対象として、「体力・運動能力」と「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。また、運動習慣については、学校のみでなく、家庭で運動を一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※ 本調査により測定できるのは、体力・運動能力の特定の一部分です。

1. 調査の目的

- (1) 国が全国的な子供の体力の状況を把握・分析することにより、子供の体力の向上にかかる施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会が自らの子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、子供の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

2. 調査内容

(1) 実技に関する調査

[8種目] 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

(2) 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

3. 体力・運動能力に関する調査結果の概要

全国・本市・本校の実技調査の結果

<男子>

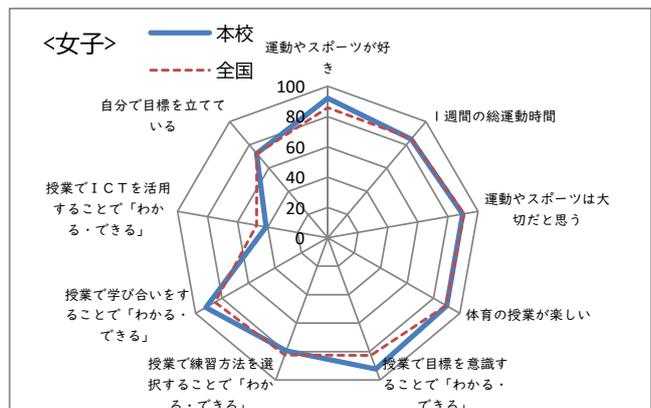
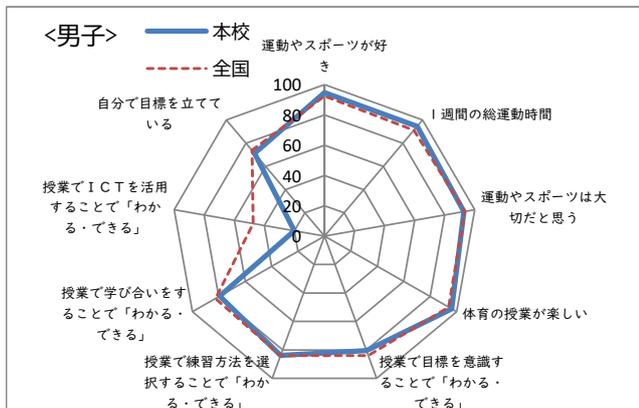
本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.21	18.86	33.79	40.36	45.92	9.53	150.83	20.31	52.28
本市	16.29	18.72	34.05	39.47	46.86	9.51	151.13	21.34	52.55
本校全国平均以上の種目	○	○		○	○	○	○	○	○

<女子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.10	17.97	38.18	38.66	36.97	9.70	144.55	13.17	54.31
本市	16.24	17.46	38.12	37.90	38.13	9.69	144.81	13.31	54.12
本校全国平均以上の種目		○		○	○	○		○	○

4. 運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査レーダーチャート



質問紙調査の結果分析

本校は、ほとんどの質問項目で全国平均を上回っており、特に「運動が好き」「目標を意識することでわかる・できる」が高い。このことから、体育の学習に積極的に参加し、子どもたちが目標を意識して主体的に取り組んでいることがわかる。今後の課題としては、授業の中でICTをさらに活用し、子どもたちが自分で課題に気づき、自主的に改善しようとする力を育てていきたい。

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科（授業）に関する取組（全校で・学年で・学級で）

今年度は、運動制限が緩和されたこともあり、休み時間に外遊びの時間が増えたり、大縄跳びができるようになったりしたことで、児童が積極的に運動する姿が増えた。また、学年の実態によって、持久走や大縄跳びタイム、短縄跳びタイムなどを実施したり、「体力向上プログラム」を活用した準備運動を実施したりしているので、子どもたちの体力が向上している。今後も、「～タイム」を設け、学年に応じて工夫しながら体力の向上に努めていきたい。

② 運動習慣等に関する取組（1校1取組）

新型コロナウイルス感染症拡大のため、全校一斉での取組はまだ実施できていない。各学級では、昨年度の短縄を活用した体力向上に加え、大縄タイムや持久走を実施し、さらに体力向上を図っている。今後は、休み時間を短縄タイム、持久走タイムを取り入れる（曜日・時間帯ごとに実施学年を指定）など、感染状況を見ながら、本校の児童の体力向上・運動習慣の取組を実施していく。